

機関におけるリポジトリの可能性を探る ～タスクフォース活動紹介

2017/6/7

JPCOAR運営委員



(千葉大学附属図書館 利用支援企画課)

高橋菜奈子

機関(大学)の中でのリポジトリの立ち位置

機関リポジトリ: クリフォードリンチの定義

- 「大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス」
- Lynch, C. “Institutional Repositories : Essential Infrastructure for Scholarship in the Digital Age.” ARL, 226, February 2003, p.1-7.
<http://www.arl.org/newsltr/226/ir.html>

機関リポジトリの役割(初期)

- オープンアクセス
 - 学術雑誌論文へのアクセスの保証
 - 電子ジャーナル問題の解決策としてのグリーンOA
- アカウンタビリティ
 - 研究発信力の強化
 - 紀要雑誌の出版・発信
 - 学位論文公開の義務化
 - 大学の情報公開
- 図書館の文脈
 - 読者サービスから著者サービスへ
 - 貴重書デジタルアーカイブの受皿

大学をめぐる状況の変化

- オープンアクセス
 - ゴールドOAジャーナルの登場。電子ジャーナルに加えて、新たな経費負担
 - 論文のオープンアクセスから研究データのオープン化へ
- アカウンタビリティ
 - 研究発信力強化に加えて、研究成果の分析
 - 大学としてのポリシーの明示
 - 大学の機能強化の文脈に沿った財源確保
- 図書館の文脈
 - 図書館機能の変容・学術情報流通環境の変容
 - 人員の減少に伴う業務の効率化

機関リポジトリの役割(これから)

- オープンアクセス
 - 学術雑誌論文へのアクセスの保証 (EJ+GreenOA+GoldOA対応)
 - 研究データの共有と公開
- アカウンタビリティ
 - 研究発信力の強化 (紀要雑誌出版、学位論文公開)
 - 研究成果の分析
 - 大学の情報公開・ポリシーの明確化
- 図書館の文脈
 - デジタルアーカイブ・デジタルスカラーシップへ
 - 検索・利用環境の整備
 - 効率的な運営 (業務フローの改善、コミュニティ形成)

タスクフォース設置

- 先端的な機能開発のための短期プロジェクトと実施した活動の成果の普及・フォローアップ

研究データTF

- RDMトレーニングツールの公開と普及

研究者情報連携TF

- 研究者情報についての検討
- ORCIDコンソーシアムモデルの検討
- 研究者情報とリポジトリとの連携の検討

OA方針成果普及TF

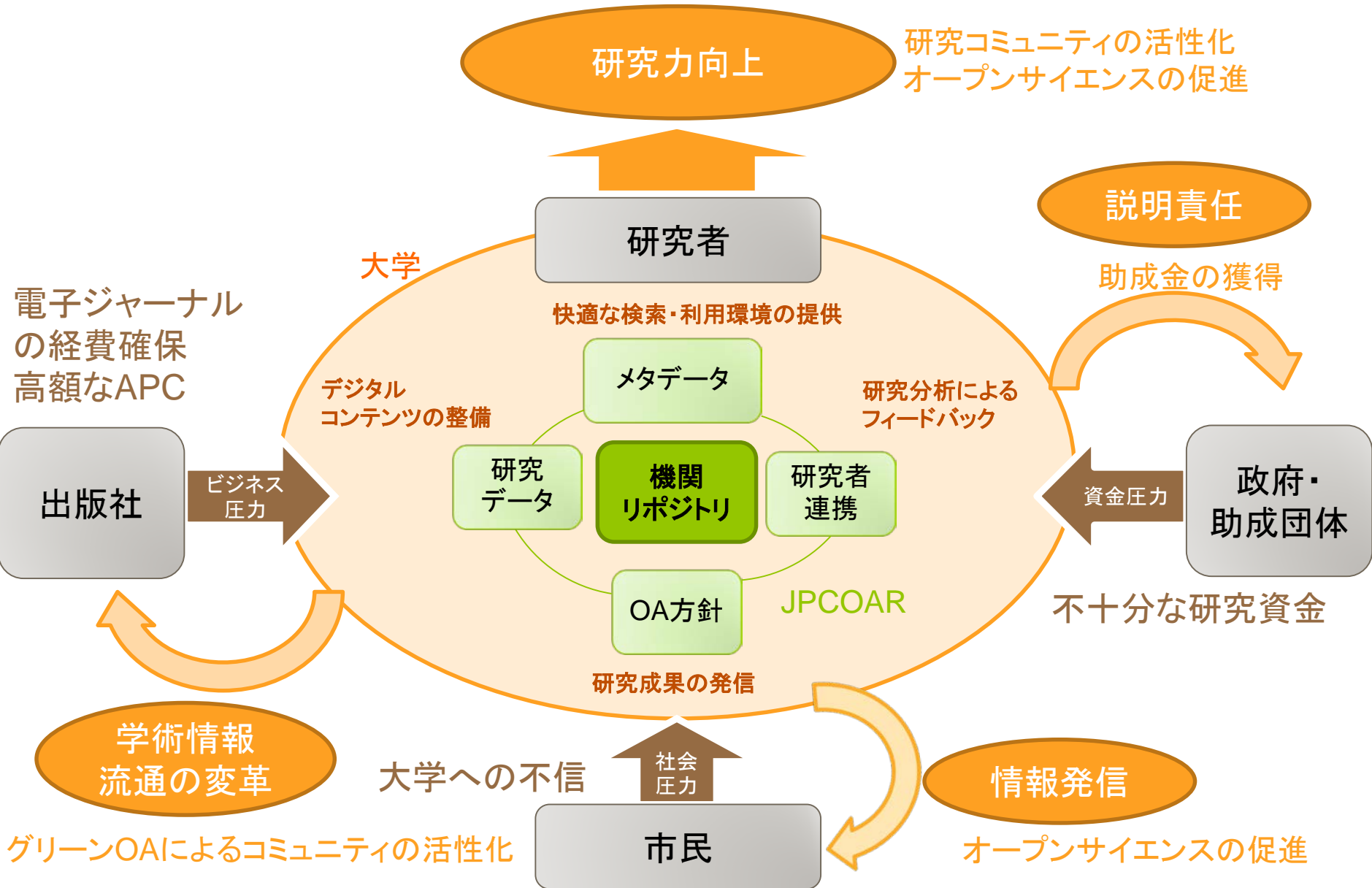
- OA方針策定ガイドの普及と充実
- OA方針リンク集の継続と拡充

メタデータ普及TF

- 新スキーマの確定と周知
- 解説・サービスイメージの提示
- COAR 統制語彙WGへの参加

⇒この後、昨年度の成果を報告

機関リポジトリをめぐる動向



JPCOARの役割

